

第1回 千葉開府900年記念協議会議事録

- 1 日 時：令和5年11月14日（火）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場 所：TKPガーデンシティ千葉 4階 コンチェルトA
- 3 出席者：別紙「出席者名簿」のとおり
（事務局）峯村総合政策局長、堺総合政策部長
上坊寺都市アイデンティティ推進課長
日野都市アイデンティティ推進課課長補佐、その他事務局職員

4 議 事

- （1）千葉開府900年記念協議会会則（案）等について
- （2）千葉開府900年記念協議会役員の選任について
- （3）千葉開府900年記念事業推進計画（素案）について

5 議事の概要

- （1）千葉開府900年記念協議会会則（案）等について
事務局案のとおり承認した。
- （2）千葉開府900年記念協議会役員の選任について
千葉商工会議所と千葉市を美しくする会の2団体が副会長に推薦され、会長により2団体が副会長に指名された。
会長により、千葉市商店街連合会と千葉市町内自治会連絡協議会の2団体が監事に選任された。
- （3）千葉開府900年記念事業推進計画（素案）について
素案については今後推敲を重ね、第2回目の協議会で審議し、策定を目指す。

6 議事の経過の概要

総合政策局長

第1回千葉開府900年記念協議会を開会いたします。私は司会を務めさせていただき千葉市総合政策局長の峯村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はご多用の中、千葉開府900年記念協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日は各分野を代表する多くの皆様にお集まりいただいております。

本来であれば皆様から一言ずつごあいさつをいただくところではございますが、お時間に限りがございますので、お手元の千葉開府900年記念協議会会員名簿に沿って私から紹介をさせていただきます。

神谷市長

～順次、出席者を紹介～

まず初めに今回の会長であります、千葉市長の神谷俊一より、ごあいさつを申し上げます。

皆様おはようございます。千葉市長の神谷でございます。本日はお忙しい中、第1回の千葉開府900年記念協議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

日々私たちが暮らし、社会経済活動を行っている千葉市の起源は平安時代にさかのぼり、1126年（大治元年）千葉常重が大椎（現在の緑区大椎町）から現在の中央区亥鼻付近に本拠を移したことから、本市の都市としての歴史が始まりました。千葉市ではこれを千葉開府と呼び、3年後の2026年に千葉開府900年を迎えます。

これまで千葉市では1921年の市政施行以来、1926年の開府800年、1976年の開府850年とその時々時代の背景を踏まえながら、市民の皆様が千葉市の現在・過去・将来を考えるきっかけとして千葉開府記念事業が盛大に行われ、重大な役割を果たしてきました。

例えば開府800年の当時を振り返ると、戦後の人口増加、経済成長が続く中で亥鼻公園での記念式典や、市街地での記念パレード、千葉氏関連資料の特別展示、記念碑の建設設置など様々な事業が実施されてきました。また850年の時に始まった親子三代夏祭りのように現在に続くレガシーとも言うべきイベントも生み出されてきました。

千葉市は現在人口約98万人を誇る首都圏有数の大都市に成長しました。近々人口減少に転じることは避けられないものの、今後は都市としての成熟を含めた質的に発展していく段階に移っていくと考えられ、それに対応し、先取りしていくような街づくりをしていかななくてはなりません。

また、現代は非常に変化が激しく、先が読みづらいこともありますが、安心して、自分らしく未来を切り開いていける地域社会の構築が不可欠ではないかと考えます。心の豊かさや新しい価値の創造が、個人にとっても社会にとっても、これまで以上に大切になってきています。千葉一族も先の読みにくい動乱の時代にあって、所領を拡大し、街経営、都市経営に取り組んでいたことと思われます。

そこで開府900年を迎えるにあたり、千葉市のこれまでの足跡を振り返りながら、市民一人ひとりが未来を切り開いていけるように、その成長を地域社会として支えて、文化芸術やスポーツを通じた精神的な充足、創造性の発揮につなげる機会にしていければというように思います。特定の分野に偏らず幅広い分野で市民活動が活発に行われるような取り組みにしていきたいと考えます。未来志向で、人と文化に焦点を当て、より豊かな

未来に向けて関係者それぞれがともに考え、取り組む機会にできればと思います。

今日お集まりいただきました皆様は、千葉一族が開いたこの街を、ともに育むパートナーでございます。この大きな節目を共に迎えつつ、この記念事業に取り組んでいただき、さらにこの協議会を超えた多くの皆様方の参画を得ながら、100年後の開府1000年のより豊かな未来につなぐ、そんな重要な場にしていけたらと考えています。協議会の皆様と共に、千葉開府900年という貴重な節目を、縁があつて今の時代を共有している私たちの手で、未来の街づくりへ向けて力強く踏み台していく起点にしていきたいと思しますので、より一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。今日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

総合政策局長

ありがとうございます。報道機関の皆様におかれましては、写真撮影は以上となります。取材につきましては閉会后、事務局にて対応させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事に移らせていただきます。ここからの議事の進行は神谷会長が務めさせていただきたいと存じます。ではよろしくお願いいたします。

神谷市長

それでは議事を進めさせていただきます。千葉開府900年記念協議会会則案、千葉開府900年記念協議会事務局規定案を事務局から説明してください。

(1) 千葉開府900年記念協議会会則(案)等について

総合政策部長

千葉市総合政策部長の堺でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは着座にて説明させていただきます。

～資料に沿って説明～

神谷市長

説明ありがとうございました。それではただ今の説明につきましてご質問等ございましたらお願いします。

出席者一同

～質問なし～

神谷市長

それでは協議会の趣旨にご賛同いただき、千葉開府900年記念協議会会則案等についてご承認をいただけますでしょうか。

よろしければ拍手をもってご承認いただきたいと思います。

出席者一同

～拍手～

神谷市長

ありがとうございます。それでは千葉開府900年記念協議会会則案等について承認されました。引き続きよろしくお願いいたします。

(2) 千葉開府 900 年記念協議会役員の選任について

神谷市長	それでは議事第二号「千葉開府 900 年記念協議会役員の選任」について、会則第 7 条第 2 項副会長・監事は会長の私が選任となっていますが、どなたか副会長について、立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。
千葉市文化連盟	千葉市文化連盟の磯野でございます。大変僭越ではございますが、私から推薦させていただければと思っております。副会長に千葉市地域を代表する総合経済団体として活躍されている千葉商工会議所と、市民総参加のもと、美しい千葉市をつくるため、千葉の親子三代夏祭りなど精力的に活動をされている「千葉市を美しくする会」の 2 団体を推薦したいと思います。よろしくお願いします。
神谷市長	ただいま、千葉市文化連盟の磯野会長から副会長の推薦をいただきました。 私といたしましてもご推薦いただきました 2 団体にぜひともお願いしたいと思っておりますけれども、皆様いかがでしょうか。よろしければ拍手をもってご承認いただきたいと思います。
出席者一同	～拍手～
神谷市長	ありがとうございます。それでは副会長に選任されました 2 団体の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。それでは千葉商工会議所と千葉市を美しくする会の代表者の方々は副会長の席に移動をお願いしたいと思います。
千葉市商工会議所	ありがとうございます。それではただ今選任されました、両副会長からひと言ずつごあいさつをいただきたいと思います。
千葉市を美しくする会	佐久間でございます。改めましてどうぞ宜しくお願いいたします。 千葉市を美しくする会の藤代でございます。副会長ということで会長を補佐し、目的達成のために一生懸命努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
神谷市長	ありがとうございます。続きまして監事の選任です。監事の皆様には、協議会の収支予算などを監査していただきます。 こちらは私からのご提案ですが、民間事業者・市民の団体から「千葉市商店街連合会」と「千葉市町内自治会連絡協議会」の 2 団体を選任させていただいてもよろしいでしょうか。よろしければ、拍手をもってご承認いただきたいと思います。
出席者一同	～拍手～
神谷市長	ありがとうございます。監事に選任されました 2 団体の皆様、よろしくお願いいたします。

(3) 千葉開府900年記念事業推進計画(素案)について

神谷市長

それでは議事を進めさせていただきます。議事の(3)千葉開府900年記念事業推進計画(素案)ですが、今日は事務局から素案を説明させていただいて、協議会の皆様から、今後ご意見をいただき、第2回の協議会の際に、皆様のご意見を反映させたものを計画案として提示させていただきたいと思います。

それでは事務局より説明をお願いします。

総合政策部長

～千葉開府900年記念事業推進計画(素案)について説明～

神谷市長

今素案の説明をしていただきました。今日は内容を確定するものではございませんので、ご出席の皆様方に様々な意見を伺いまして、計画案としてまとめていくための、皆様からのご意見をぜひいただきたいと思います。

それでは推進計画の素案につきましてご質問、ご意見いただきたいと思います。いかがでございましょうか。

千葉市教育振興財団

この素案を見ますと総花的な計画でして、何かこの、100年に一遍というイベント、次の1000年には我々は携われないわけですけど、次の100年後の市民に、100年前の市民はこういうような事業をやったんだ、なにかその目玉になるような、インパクトのあるようなものを一点何かできないものかと思う。

素案を見ると総花的な内容でインパクトが薄いという感じがしたのでご意見させていただきます。

藤代副会長

次の開府記念事業は、50年後を見据えることになると思います。

神谷市長

そうですね、まさに50年、100年と節目ごとに行われる催しでございますし、今亥鼻公園に行きますと50年前、100年前の碑が残っております。

私も今日の協議会に臨むにあたりまして50年前、100年前の書籍、記録をざっと読ませて頂いたところですが、千葉市を毎年発展させていこうという当時の市民の皆様の熱意というものは並々ならぬ物がありまして、非常に高い熱量を持った取り組みが半世紀ごとに行われています。

今日は項目というか、枠組みをお示ししたということで、これからまさに具体化、魂を入れていなかいかといけないと思います。

我々としても、どんな新しいレガシーを生み出していくのか、しっかり検討させて頂きたいと思っておりますので、こんな取り組みがいいのではないか、この場でなくても結構でございます

神谷市長

で、是非お寄せいただきまして素案を具体案に致しまして皆様にご理解いただける内容に仕上げていきたいと思ひます。

千葉市観光協会

ほかにございますか。はい、観光協会の足立様、お願いいたします。

基本理念だから仕方ないのですが、「千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり」というのが長すぎて、元マスコミにいたので思ひますが、こういうのでキャッチコピーとか標語とかにどう落とし込んで抽象的なものから具体的なものに持っていくかというのが難しいと思ひます。

理念としてはわかるが、サブタイトル的に漢字2文字で「飛躍」なのかNew Bornで「新生」なのか、具体性が見えるものを添えないと、ここから、さあ何かを創るぞとなると、難しいのではないかと思ひました。

神谷市長

ありがとうございます。

今ご指摘頂いた部分は、事務局の中でも議論がございました。

今日は基本理念ということで、単に歴史を振り返るだけではなく、市民生活さまざまな分野や場面において次の50年、100年につなげていく、今の社会情勢をふまえて未来を切り開いていけるような取り組みをしたい、ということでまとまっていますが、それをそのままPRだったりSNSで使うと間延びしてしまう、というようなご指摘だと思います。

こうした基本理念を市民の皆さんや関係者の方に訴えていく時にどういう切り口がいいのか、改めて伝え方として考えていかないといけないと思ひますので、頂いたご意見を踏まえ、さらに深掘りして、メッセージ性のある端的な考え方が伝わる中身を考えていきたいと思ひます。

ありがとうございます。引き続き、ご指導いただければと思ひます。

神谷市長

千葉日報社、中元様お願いします。

千葉日報社

千葉日報の中元です。よろしくお願いします。

先ほどの飯田委員から出た「インパクトが薄い」という話と重複しますが、「祝うイベントを行います」という項目があるのであれば、850年の時に親子三代夏祭りが大成功しているので、それを上回るか、並ぶようなものが必要だと思います。

例えば「千葉開府祭り」と銘打って祭りを大きくし、その中に親子三代夏祭りを組み込むとか、これは個人的な意見ですが、そ

神谷市長

ういったレガシー事業を提案するという項目があった方がいいのではないかと思います。

ご意見ありがとうございます。今頂いたご意見につきまして、「もう少し具体性をもって計画もしくはメッセージが伝わるようなことを推進計画の中に入れるべきではないか」ということではないかと思いますので、ご意見を踏まえまして、こちらのどんな思いを市民の皆様、関係者の皆様に伝えていくのか、祝祭行事の中でもどんなコンセプトを訴えていくのか、わかるような形にするべく検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

ほかにございますか。

はい、千葉テレビの青柳様、よろしくお願いいたします。

千葉テレビ放送

千葉テレビの青柳でございます。基本理念の中に「未来へ向けたひとづくり」とあるので、これから事務局のほうでプランは煮詰めていくと思いますが、次の50年に向けこれからの社会を作っていくというのは当然若者な訳ですよ。それは小学生であり中学生であり、高校生である。彼らが大人になっていく過程で次の社会を作っていく。その中で千葉一族というのは千葉市の歴史的資産で、若者にとって認知が高まれば、郷土の誇りにもなるものだと思います。

市外の人から「千葉市の名前の由来って何ですか？」と聞かれた時にその次世代を担う若者たちが、「千葉市というのは、千葉一族という方がいて、これこれこういう理由で～」ときちっと説明できる、それが自分たちの郷土に対する誇りに結びついていくものだと思います。非常に良い企画だと思っていますので、次の世代の人たちが誇れるようなものを核として盛り込んで頂けたらと思います。

神谷市長

ありがとうございます。

千葉市のアイデンティティといいますか、今の若い世代の方は、元々千葉市に住んでいるので、「なぜ千葉市が千葉市なのか」ということについて、なかなか思いを巡らせるもないのだと思います。

そういった環境の中で、且つ様々な地域資源がある千葉市において、千葉市のアイデンティティは何かと聞かれた時に、なかなか答えにくいということ市民アンケートで出ている状況でありますので、やはりわが街千葉を、誇りに思えるためには街の起源で

すとか何が地域の資源として優れているのかということについて、自らの言葉で語れるようになって頂くというのが重要でないかと思っています。

今、都市アイデンティティを4つ定めて重点的に我々としてもPRしており、その筆頭が千葉氏であります。もう少し深掘りして若い世代の皆さんに街の起源、街の誇れる地域資源について、理解するだけでなく市外の人に話してもらえそうな、そんな環境づくりも重要だと思っておりますので、ご指摘を踏まえて、各事業の中にどう織り込むのか検討させていただきたいと思っています。

ほかにございますか。はい、NHKの綱島様、よろしくお願いします。

日本放送協会千葉放送局

はい、NHKの綱島でございます。

私の意見としては、今青柳さんが言ったように、私も次の世代に誇りを持ってもらうということが、この900年記念に大事なところだと思います。

900年という数字ですので、それなりにインパクトのある事業だと思いますので、基本理念にもありますが、大事なところは内外にどう発信するかだと思います。象徴、シンボルのようなものが必要でないでしょうか。先ほど具体的に、という話もありましたが、この900年という事業のシンボルは何なのか、という事を端的に示す何か、それはタレントさんを使うのか、キャラクターを作るのか、市長がそういう形でアピールするのか等、シンボルのようなものを基本理念、基本方針に基づいて作ったうえで、助走になる来年・再来年へと続いていくのがいいのかなと思います。

NHKの大河ドラマは、2026年のテーマはまだ決まっておりませんが、その先を狙えるような雰囲気づくりなど、そういうものを千葉市から出していくのいいのではないかと思います。以上です。

神谷市長

ありがとうございました。今回基本理念、基本方針のたたき台をご用意してもらいましたが、先ほどいくつもお意見頂いているように、何をどうやって伝えるのか、ということについて更に検討が必要という意見だったと思います。

報道機関の皆様にもお願いできることも出てくると思いますし、大河ドラマのお話でありましたが、今後についてはまた考え

藤代副会長

るとしましても、昨年大河ドラマでは鎌倉殿の13人で千葉常胤が登場されて、岡本信人さんが演じられました。鎌倉時代というのは、時代背景がなかなか複雑でどうしても理解が深まらない時代の1つではないかと思いますが、ドラマで扱っていただいたことで、かなり歴史の流れの理解が深まったという声をいただいておりますので、こういった手法で、我々の目指す基本理念を端的に伝えていくのか、そういうことを含めて検討していきたいので、今後ご意見いただければと思います。

ありがとうございます。はい、藤代副会長お願いいたします。

神谷市長
総合政策部長

千葉一族の「未来を切り拓くチャレンジスピリット」を受け継ぎ、となっておりますが、千葉一族のどのような点をチャレンジスピリットというふうに捉えているのでしょうか。「千葉一族のチャレンジスピリット」と敢えて書いているが、他の一族と違ってどういう行動がチャレンジスピリットだったのかという問いがあるかもしれないので確認しておきたいと思います。

はい、事務局お願いします。

策定の趣旨に散文的に書かせていただいておりますが、源頼朝を助けるという内容が、まさに大河ドラマにもありましたように、非常に動乱の時代に千葉常胤が信念をもっていち早く源頼朝支持を表明し、それがひいては鎌倉幕府の成立に繋がっていった一連の流れ、先見の明と行動力を非常に重要視しています。

さらに、その中で息子たちが全国各地に散らばっていった勢力拡大の中で、持続的な都市経営を行いました。最終的には小田原の北条氏と共に滅んだ訳ですが、400年続いたその礎を築いたところを総称してチャレンジスピリットとしました。

藤代副会長
神谷市長

ありがとうございます。

はい、ありがとうございました。ほかにございますか。

はい、それでは町内自治会連絡協議会の金子様、お願いいたします。

千葉市町内自治会連
絡協議会

今まで話が出たのですが、千葉市の自治会で具体的に支援するとしても機運の醸成というのが難しい。何とかして市民皆さんの顔をこちらに向けさせるというのが一番大切です。

今テレビの話も出ましたが、信長公の時に見て、ああ、そうか、と思いました。今回この開府900年記念協議会のお話を頂いて、年表を調べてみましたが、戦国時代のかかなり後になりましたが大変な時代があり、千葉市が干ばつだったり台風でなくなっ

神谷市長

てしまう時代が出てきたりします。それにしても今、千葉の名前が残っているのは多分チャレンジがあって残っているのだと思う。歴史のことを勉強すればいいけれど、その辺を皆さんにわかるように学校でも何となく教えるとかいろいろな方法で、皆さんが理解できる方向にもって行って頂けると良いと思います。よろしくお願いします。

はい、ありがとうございます。

若い子どもたちに対して、どのように都市のアイデンティティですとか、元々持っているチャレンジする姿勢ですとかを個人に基づいてお知らせしていくのか、我々としてもしっかり検討していきたいと思います。ありがとうございました。

ほかにございますか。

はい、それではＪＲ東日本の森原様、お願いいたします。

東日本旅客鉄道株式会社
千葉支社

ＪＲ千葉支社の森原でございます、本日はありがとうございます。

基本計画の素案を読ませていただきまして、皆様のご意見もその通りだと思います。

私は千葉市に住んでおりまして、千葉市は非常に広くて「どこでこういったイベントをやるか」が非常に重要ななと思っています。

あちらこちらでやってしまうと、どうしても分散してしまうので、例えば中心市街地でやるか、もしくはある程度２、３カ所に分けてやるか、場所を今後考えていけば良いと思います。

例えば幕張エリアとか、千葉駅から県庁に向けて、市役所に向かう、そういったルートで道路を大体的に使って何かイベントをやるとか、どちらかというと中心地でやったほうが良いのかと思っていますが、ある程度そういった方針を決めた上で進んでいくと動きやすい、やりやすいのかなと思っています。

市制１００周年、それから政令指定都市３０周年の２０２１年、２０２２年と、ちょうどコロナ禍になってしまった部分もありますので、この２０２６年はぜひ地域全体で盛り上げることでできればと思っておりますので宜しくお願いいたします。

神谷市長

ご意見ありがとうございます。

展開の拠点をどのようにもって広げていくのがいいのか、と様々な考え方があると思いますので、よく整理をしてご提案していきたいと思っております。

また市制施行１００年ですとか、政令指定都市３０年というのは、どうしても行政の中の区分という色彩が濃いかと思っておりますが、千葉開府９００年というのは８００年８５０年とみていきますと、行政の中だけでなく、むしろ市民の皆さん事業者の皆さんが中心となって行政と一緒に盛り上げていく、そんなこれまでの節目の行事とはまた違う、深い思い入れのある街の歴史を相当程度遡って理解をつなげていく節目として、１００年、３０年の事業と比べ、更に注力して取り組んでいきたいと思っております。

ほかにございますか。

シナリオによりますと、この後お一人おひとりに９００年の思いを聞く段取りになっております。いったん素案につきましてのご意見につきましてはここまでとさせていただきまして、今日頂いた意見を踏まえまして推進計画に具体化案の精査をしていきたいと思っております。ご意見、多数いただきましてありがとうございます。

（４）意見交換 神谷市長

本日は第１回目の協議会です。千葉市を支える団体、企業の代表の方がお集まりいただいていることもありますので、改めてご出席全員の皆様にご発言いただけないかと思っております。

今日これまでの議事に関係することでも結構でございますし、議事に関わらず千葉開府９００年に対する思いですとか提案などをお聞かせいただけないかと思っております。

大変恐縮ですが、お忙しい皆様にお集まりいただいている関係で、おひとり２分程度でおまとめいただけるとありがたく思います。

それでは座席順でまずは千葉県警察千葉市警察部 武内部長からお願いしまして、私から見て反時計回りで順番にひと言ずついただきたいと思います。

それでは武内部長から、お願いします。

千葉県警察千葉市警察部

千葉市警察部長の武内でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

千葉市が、来年から開府９００年に向けて動き出すということで大変な年になると思います。ちょうど、千葉県警察においても来年１５０年という節目の年を迎えるので、この大きな節目を迎

神谷市長
千葉大学

える年に皆さんと連携を一層強化して一丸となって安全で円滑な記念行事を推進してまいりたいと考えておりますので、今後とも宜しく願いいたします。

それでは千葉大学 中谷様お願いします。

千葉大学理事・学長代行の中谷でございます。この度は開府900年ということで、非常に歴史のある都市に私たちのメインキャンパスが立地しているということで大変光栄に思っています。

特に、千葉市の源である亥鼻地区には医療系3学部、医学部、薬学部、看護学部と附属病院が位置しておりまして、そういう歴史のある場所にあるのは非常に光栄であると共に、私たち大学としても頑張らないといけないと思っています。

900年とひと口で申し上げると簡単ですが、私たちの大学は学部によっても歴史の長さは違いますが、150年とか国立総合大学としてのスタートとしてはたかが75年とか、そういう年代でございます。

私たちの大いなる構成員である学部生、大学院生にもこの歴史ある貴重な場所で学んでいる、あるいは研究しているということを意識づけたしまして、若い力を利用し、開府900年を祝うことにご協力したいと考えております。

先ほどの話にもありましたが、千葉市はものすごく広い都市です。中央区だけで盛り上げてよいのかということもあろうかと思えます。ですから学術的なもの、チャレンジスピリットを育成する、若者が将来誇りをもって千葉市で暮らせる、というようなことを意識づける、アイデンティティを強化する、そういうイベントがあれば、よりよいのではないかと考えております。

広いということはまだまだ伸びる価値のあるポテンシャルティを持っている都市だと思っていますので、開府900年を契機にさらに千葉市が発展する、あるいはそこに若者が集う、そういう街になるように私たちは教育研究で頑張りますので、市民全体で盛り上げていただければと思っています。私たちも協力を惜しまないつもりでございますので、今後とも宜しく願いいたします。

神谷市長

ありがとうございました。それでは千葉県経営者協会の高橋様、お願いいたします。

千葉県経営者協会

はい、千葉県経営者協会専務理事の高橋でございます。

本日、会長の三枝が所用により欠席でございますので代理で出

席させていただきます。よろしくお願いします。

本イベントについては冒頭市長からお話でしたが、先行き不透明な時代にとりわけ千葉氏の歴史を振り返りその教を学ぶという絶好の機会だと思いますし、先ほどから出ているように大河ドラマ等で認知度が高まりつつあるというところがございます。

より広くこの事業を知っていただくためにも、我々経営者協会としましても傘下の会員企業の方々、千葉支部に関して言いますと約600社になりますが、全体は1,600を超えております。

こういった会員企業に対して、まずは周知活動に努めてまいりたいと考えております。

また本事業が今後の観光事業とか経済のさらなる活性化につながるような、起爆剤になるような形で様々な発信ツールを活用して広くアピールしていただくことを期待しておりますし、我々としましても微力ながらご協力していきたいと思っております。以上でございます。

神谷市長

ありがとうございます。続きまして、千葉市商店街連合会の伊勢田様、お願いいたします。

千葉市商店街連合会

商店街連合会の伊勢田でございます。皆さんのいろいろなご意見を聞きながら、このメンバーに入れて良かったなというように思っております。

私自身、地域ボランティア、PTAや各地域のボランティアを約50年やり、町内自治会もやってきていろいろな行政のイベント、特に千葉市のイベントに関わらせていただいています。

千葉氏については、以前商工会議所に千葉さんという方がいらっしやった。大変かわいがってもらいまして、その千葉氏の直系の方がどなたかいらっしゃるのか、もしその直系の方がいらっしやれば、たまにこういう会議にも出てきていただいてこの事業を成功させるためにどのようにやっていったらいいかという思いをひと言、いただくのもよいかと思います。

お願いします。よろしくどうぞ。

神谷市長

ご提案を含めてありがとうございます。続きまして、千葉市観光協会の足立様、改めましてお願いいたします。

千葉市観光協会

はい、観光協会の足立です。

観光協会としましては、千葉市はいろんな魅力があるのにどう

	しても埋もれてしまいがち、インパクトに欠けるみたいなところがあって、そういう意味でこういう記念事業がひとつの起爆剤になってくれると、飲食・宿泊も含め、千葉市の経済が活性化して非常に良いのではないのかと思っています。 もっと言うと、プレイベントを含め早くやってもらったほうがいい。３年後となるとやっぱり、それまでにもいろんなイベントを計画してやっていただけるとありがたいと思います。 ついては、神谷市長にエンゼルスの大谷選手のような兜をかぶっていただいて、千葉一族に扮して千葉の子どもたちとか市役所の若手職員から「千葉って何なの」と聞かれて、面白く答えるというようなSNSを多数発信して魅力アップに努めて頂きたいと思います。以上です。
神谷市長	ありがとうございます。私も精進していきたいと思います。ありがとうございます。続きまして町内自治会協議会の金子様、お願いいたします。
千葉市町内自治会連絡協議会	千葉市って本当に広くて千葉の歴史もかなりいろいろあって、まだわからない、全然知らない人がいっぱいいるんですよね。それがやっぱり一番困るのではないかと。 NHKさんをお願いしてやるのはいいんですけど、もっと簡単に我々がわかるような方法で、まず開府の一番始めの所以のところを、皆さんにわかるように説明して頂けるといい。 皆さんそれぞれ意見の違う人もいっぱいおりまして、地域によってみんな違う。千葉市もかなり広くて、力が入るところがバラバラになってしまう。これは非常に問題になってしまう。 私は去年、オオガハスの開花７０周年記念事業に関係したのですが、これもやってみるとなかなか難しくて、オオガハスって誰もが知っているだろうと私たち最初から頭の中にあっただけですが、知らない人のほうが多かった。 千葉開府も、これはやっぱり大変なことなので、一生懸命やっていかなきゃいけないので、ぜひ簡単なことでいいので千葉市の歴史がわかるようにメッセージを送る機会があればいいなと思います。
神谷市長	ありがとうございます。続きまして千葉市文化連盟の磯野様、お願いいたします。
千葉市文化連盟	文化連盟の磯野でございます、よろしくお願いいたします。私の今所属している文化連盟には、団体が１０団体あります。

文化振興の面では幅広くやっていかないといけないのですが、実は高齢化で、若い人たちがなかなか馴染んでこないということありますので、千葉市民芸術祭や千葉市芸術文化新人賞を設けいろいろな面で発表する機会で、さらに活躍できる場の必要性を感じます。

特に、芸能人やスポーツ選手とかを多数輩出している訳ですから、そういう人たちもどのように活用してくか、というの大きなものがあります。

私は前職からどうしても子どもの立場を考えるのですが、学校で「千葉市歌」を知っていますか？とか、政令市になった時に作った歌を知っていますか？と聞くのですが、他市では、小学校入学時から市歌を歌うとか、馴染みをもって愛着心を持たせるという活動が結構あるものの、千葉市は市歌を歌わせるのは古いと言われてしまうとか、イメージソング「心の飛行船」を歌う機会が多くないと思います。

これまでも市歌とか「千葉常胤公ものがたり」の漫画を各学校に配布いただいております。普及する方法はたくさんあると思いますので、今回また900年の歌を作るかどうかは別として、これから950年に向けて生きていく子どもたちが何か関わっていただけるものをぜひやっていただけたらな、という思いです。よろしくお願いします。

神谷市長

はい、ありがとうございます。続きまして、千葉市スポーツ協会の野村様、お願いします。

千葉市スポーツ協会

改めまして、千葉市スポーツ協会の野村でございます。日頃より皆様方には当協会の事業やイベント等、ご理解、ご協力そしてご助言いただきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

当協会は皆さんご存じのとおり、千葉ポートアリーナを指定管理者として管理している他、千葉市から委託を受けまして稲毛ヨットハーバーも管理している団体です。海を唯一管理しているという組織として何かできるかなというところで、この900年事業、何か案が出ればと模索しております。

また当協会は日本スポーツ協会の支部でもございまして、所属団体が39種目団体あります。

陸上、水泳、野球他、様々なスポーツ団体、競技団体が所属している団体ですが、例えば政令指定都市移行30周年記念事業等、記念事業があるたびに必ず冠事業と称してイベントをやって

います。そうした中でどういうイベントを企画できるかというのを考えていきたいと思います。

また、個人的な話になりますが、８５０年の時、私は小学生の頃だったのですが、その時にいろいろなお祭りごとを云々というのをうっすらと覚えています。先ほど皆様が言われていたが、インパクトの残るイベントということで、何か作らないといけないのではないかと考えています。

私も前職の新人研修で必ず聞いたのですが、「千葉市にお城いくつあるか知っているか」と聞くと、だいたい千葉城＝亥鼻城、ひとつのお城しか言わない。「４つある」と言うと意外と皆さん知らなくて、若い世代が増えてしまったな、と感じた。そこに何か９００年のポイントというか、ヒントがあるのかな、と個人的にはあると思っています。まとまりませんが以上でございます。よろしくお願いいたします。

神谷市長

はい、ありがとうございました。ベイエフエムの久保様、よろしくお願いいたします。

ベイエフエム

はい、ベイエフエムの久保でございます。

こういう事業は市民から広く注目を集めなければ、準備をしてきた人たちのものになってしまうと思います。

特に今、千葉市は他市等から移転してくる人々が多いですし、若い人は地元意識が段々なくなって、東京に目が向いていくということもございます。

そういう人たちに目を向けさせるためにも非常に重要なことだと思うのですが、これから具体的に決まっていく中で、この事業展開の「場所」が非常に重要だと思っています。先ほど野村様からもありましたが、稲毛の浜のように、都心からわずか３０～４０分でアーバンリゾートビーチというのは他にないものだと思います。先ほどお話があったオオガハスの千葉公園、これも千葉駅から徒歩圏内にあいう場所があり、その他にも加曽利貝塚等、千葉市にはアピールできる場所がいっぱいあるのですが、千葉市民ですらあまりよくわからないということがございます。

そういう場所も是非活用して、アピールの機会にもしていければと思います。私もマスコミの一員として、機運醸成の一翼になれるように広報活動をしていきたいと思っています。以上です。

神谷市長

ありがとうございました。つづきまして、日本放送協会千葉放送局の綱島様、よろしくお願いいたします。

日本放送協会千葉放送局

はい、NHKの綱島です。

先ほどもお話ししましたが、今回は900年ということで、周年事業というと大体100年とか50年単位のものが多いのですが、900年というもののすごい重い感じがするので、重い感じにならないように、柔らかい感じ、大きなイベントとして「おもしろいこと」をやって欲しいですね。若い人がワクワクするような、次の50年に「千葉市ってこんないい所だよ」と千葉市内外の人に言われるような楽しいこと、面白いことをこの事務局、協議会で考えて発信する、ということが大事なのではないかと思います。

私は過去に色々な地方で勤務していますが、「ご当地アイドルを本気で紅白に出してくれ」と陳情を受けたことがあります。「無理ですかね」とこちらが伝えても、首長さんだったり地域の人は強い熱意で「ご当地アイドルを出して地域を活性化したい」という話をされていました。我々地域の放送局としては、その本気度にもものすごい感銘を受けて、もっといろいろなことをやらないといけないのではないかと思います。

今回話題性をしっかりもってTV局でも新聞社でも取り上げられるくらい大きなことを、私も考えますが、900年でもやっていただければと考えております。以上です。

神谷市長

ありがとうございました。続きまして、千葉日報社の中元様、お願いいたします。

千葉日報社 中元代表取締役

はい、先ほども意見は出させていただいたので、マスコミとして隣に座っているNHKさんにできればお願いしたいのは、市内外への情報発信としては大河ドラマになれば一番大きいのかなと。厳しいことはわかっていますが、とりあえずそこはお願いしておきたいと思います。

弊社は紙媒体ではありますが、先ほど言われたようにSNS、オンラインとか、ちばとぴ！とかありますし、LINEでも登録者数55万人を超えていますので、やはり仕掛けをすればそれだけ情報発信効果はあると考えています。市内外に未来志向の記念事業の情報発信をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

神谷市長

ありがとうございます。続きまして千葉テレビの青柳様、お願いいたします。

千葉テレビ

千葉テレビの青柳でございます。

千葉市というのは100万人に近い大都市で首都圏にあって海もあるし、里山もあるということで多方面にわたって魅力のある市なんですよね。ただ住んでいる人間というのは、千葉市がいか
に住みやすくいろいろな良い場所があるというのを、当たり前
すぎてそのありがたみがわからないという部分もあると思いま
す。

それは全てが平均的によい所がある故ですが、都市アイデンテ
ィティを考えて核になるのは何だろうと考えた時に、やっぱり郷
土の英雄というのは自分の故郷に誇りを持つという意味で非常に
大きな要素だと思っています。

これは他市の例で申し訳ないのですが、学生時代の友達で埼玉
県の熊谷市の人間がおりまして、50年近く前に彼の家に遊びに
行ったときに1枚のレコードを聴くように言われました。聴かさ
れたレコードは熊谷次郎直実をモチーフにした直実節という民謡
調の歌だったのですが「何でこんな歌を聴かせるのだ」と尋ねた
ら「子どもの時から小学校で運動会とかイベントの時に歌ってい
る、みんな踊れる」と。いかに彼が熊谷次郎直実を誇りに思っ
ているかというのを滔々と僕に語りまして、熊谷市民にとっては直
実は郷土の英雄だと思って彼らの都市アイデンティティを構築す
る上で非常に大きな人物なのだと、50年経った今でも覚えてい
ます。

それを今回の千葉開府900年で千葉常胤ですね、千葉常胤は
そもそも鎌倉人御家人で熊谷次郎直実より格が上なのだけれど、
900年を契機に、千葉一族や千葉常胤がどういうことをやった
んだ、ということを若者が郷土の誇りをもてるような形で進めて
いけたら本当にいいなと思っています。当然私たち地元メディア
ですので、そこをお知らせすることに関しては努力してまいりたい
と思っています。

神谷市長

はい、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。続
きまして千葉みらい共同組合の小島様、お願いいたします。

千葉みらい協同組合

はい、千葉みらいの小島でございます。なかなか千葉市に住ん
でいて、「千葉市の歴史に触れる機会が少ないな」という感じを受け
ています。イベントだけでなく歴史に触れあう機会というの
を、今回開府900年の式典においてぜひ市民の方々に知ってい
ただくような機会を設けていただけたらと思います。

そして農業に関することですが、900年の中で大きく変貌し

神谷市長 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	ているのは農業です。その中で農業の歴史というのは非常に深く、この50年間でも農業者は非常に減っておりますが、その中で大きく変貌してきていると思っています。今後につきましても歴史の中で少し触れて頂けるとありがたいと思っています。JA千葉みらいとしましても、この式典できるだけ協力をさせて頂きたいと思います、どうぞ宜しくお願いいたします。 ありがとうございます。続きまして、JR東日本の森原様、お願いいたします。 東日本千葉支社の森原でございます。 先ほどもお話にありましたが、千葉市はとても広いと私も感じておりまして、都会の部分もあれば農業、それから観光と非常にいろいろなものをもっていて市の中ですべてを完結できる都市だと思っています。 経団連の観光委員長が以前話しておりましたが「今後日本が外国に向けて発信できる強みというのは観光と農業だ」という話がありました。まさに農業も強いですし観光もあるということで、千葉市は外にグッと行ける力が十分にあると思っております。ぜひこういった形の千葉市を我々も一緒になって盛り上げていきたいと思っています。 また、2026年は千葉駅の新しい駅舎ができてちょうど10年に当たる年になりますので、ぜひ皆様と連携できればと思っています。 当社はコロナで非常に大きな打撃をうけているわけですが、やはりお客様の流れ、地元が元気でないと我々も活躍できない部分がありますので、皆様と共に2026年、開府900年を盛り上げていきたいと思っています。引き続き宜しくお願いいたします。
神谷市長 千葉市教育振興財団	ありがとうございます。続きまして千葉市教育振興財団の飯田様、お願いします。 私ども、実は美術館を所管している団体です。 美術館は2025年に30周年を迎えます。ちょうど政令市に移行した時に美術館が設立されましたが、この開府900年の前年、30周年にかかる事業を企画しようとしているところです。 1年ずれていますが、一体になってやったほうが予算が倍になる、よりインパクトがあるのではないかと考えているところでして、ただ予算の出所が前年は市民局で、この事業は総合政策局な

神谷市長

ので、では合体してできるかどうかという部分ではありますが、先ほども申しましたように、インパクトのある事業、記憶に残ることをしないとイケない。

美術館としてはこの記念事業に合わせて何かインパクトのある絵画を購入するとか、それは10年後100年後に財産として残るという部分もありますので。1千万とか2千万という桁ではなく、その上の桁の予算をつけていただきながら、全世界の人たちにインパクトのあるような、残るものを購入できたらいいなど、ちょっと思っていますので、市長よろしく願いいたします。

熱い思いを受け止めさせていただきまして、美術品の収集につきましては美術館の方でこれまでのプランの中で見直しがあると伺っておりますので、また詳しく教えて頂ければと思います。ありがとうございます。

続きまして、千葉市青少年育成委員会の岩崎様、お願いいたします。

千葉市青少年育成委員会

青少年育成委員会の岩崎と申します。よろしくお願いします。

先ほどから皆様の話を伺いながら、私の団体は何ができるのかなと考えておりました。私共、比較的保護者との関わりが多く、若いお父さん・お母さん、小学校・中学校、子どもたちと関わること多いので、その子どもたちにこれをどう伝えて、あなたたちがいずれ担う千葉市だよ、ということをどのようにやっていけるかと思いながら皆様の話を伺っていました。

私が住んでいるのは埋め立て地で磯辺という場所です。先ほど歌の話がありましたが、私たちの地域では磯辺音頭がありまして、運動会では必ず磯辺音頭を踊ります。踊る前には地域の笛をやっている方に講習をうけまして、子どもたちは、これが自分たちの地域の踊りと思ってやっているし、地域の磯辺運動会では小学生・中学生が大人よりも楽しく歌っているというところを見ると、そういう何か残るものを作るのも大事なのかなと思いました。

それから、育成委員会もコロナで人と会うことができなかったのですが、若い保護者の方たちは、できなかったら何ができるのだろうということで、毎年体育館でクリスマスウィンターコンサートといって、300人位集まるコンサートをしていたのを開催が危ぶまれたのですが、部員の保護者の方から、せっかく子どもたちが練習して保護者も見たいということで、千葉市ではおそら

神谷市長

く初めて、Y o u T u b e に育成委員会のアドレスを作りまして、オンラインで保護者の方に見て頂いたりしました。若い方にお願いするといっぱい良い案がでてくるのではないかと思いますので、「こういうのを今やっているよ」ということをことあるごとに伝えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

千葉市社会福祉協議会

ありがとうございます。しっかりと受け止めて検討したいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、千葉市社会福祉協議会の初芝様、お願いします。

千葉市社会福祉協議会の初芝です。よろしくお願いいたします。先ほどから何名かの委員さんが仰ってましたが、一部だけではなく千葉市は広いので全体での盛り上がりということを仰っておられましたけど、我々は千葉市民生委員児童委員協議会さんですとか千葉市町内自治会連絡協議会さんとか日々の活動を連携させて頂きながら、我々も地区部会と連携をとってやっていて、そういったところの活性化を非常に重視しています。

今回これを機会に考えたのですが、具体的な事例として話しますと、私の住んでいる地域とかでも歴史民俗研究会とかそういう団体があって、そこで身近な地域の歴史を学んで子どもたちに伝えていく、という活動をやっていました。ちょうどコロナもあって活動も縮小して、且つ担い手不足、高齢化という問題が直面しております。大きな、中心となる目玉事業も必要ですが、今回を機にそういった具体的事例をもって地域の活性化に繋がるような事業にも目を向けて頂ければと思います。

神谷市長

ありがとうございました。続きまして、千葉市民生委員児童委員協議会 清水様、よろしくお願いいたします。

千葉市民生委員児童委員協議会

千葉市民生委員児童委員協議会会長の清水でございます。よろしくお願いいたします。

先ほどからそれこそいろいろな方のご意見を聞いていまして、50年後100年後、多分もう私はいないかな、という印象をうけまして、50年後に「50年前にこういうことあったよね」ということを言ってくれるのは恐らく小学生、中学生、若者なのではないかと思いました。ですので、イベントとか行事に、子どもから若者まで積極的に参加してもらって、企画から参加してもらって「楽しかったね」ということで50年後に、「ああ、あんなことあったね、じゃあ50年経ったからやらなきゃ、50年経って節目だから僕たちがやろうよ」といった声があがるようなイベン

トにしていただけたらと思います。希望で申し訳ないですが、もちろん私たちも協力は惜しまず頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

神谷市長

ありがとうございます。続きまして、副会長の藤代様、よろしくお願いいたします。

藤代副会長

私的な話で申し訳ないですが、私は昭和45年（1970年）に市役所に入りまして5年後にこの850年祭をやりました。私はその頃、駆け出しで使い走りだったのですが、あの時の盛り上がりは今よみがえってきます。いろいろな事業が大きく展開されました。その時のコンセプトは「豊かな郷土、郷土愛を育み、心豊かなコミュニティづくりを進めていこうよ」というコンセプトだったかなということで、その中でまさに親子三代夏祭りが生まれ、まさに「市民の祭りを作ろうよ、市民の祭りで大きく皆さんが郷土愛をはぐくんで行こうよ」ということでこの親子三代夏祭りが始まったわけです。

では今度の900年祭は何がコンセプトなのかと先ほど質問しましたが、それはチャレンジ精神なのかなと思います。このチャレンジ精神を市民にどう引き継いで、未来の豊かな千葉市を作っていこうかと、これが大きなテーマになるかと思っております。

もう1点、ひとつ評価したいことは、今まで千葉氏（ちばうじ）あるいは千葉氏（ちばし）と呼んでいて、どっちなのかという話がよく出た。それを今回の計画の素案で、千葉一族という風に括った。これである意味では論争が集結して、千葉一族によってこの千葉市がこれからも発展していくんだ。この礎によって発展してくんだ、ということでこの千葉一族というロゴというのでしょうか、ここに括ったということを私は大きな評価をさせていただきます。

いずれにしても、私は50年後にまたこのお祭りに参画できるということに、本当に縁を感じております。皆さんと力を合わせて素晴らしい900年祭を行っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

神谷市長

ありがとうございました。それでは佐久間会頭、お願いいたします。

佐久間副会長

佐久間でございます。経済同友会、商工会議所をさせて頂いております。

千葉市って何だろうと考えてみますと、明治に県庁所在地にな

ってから急速に発展して、また戦後臨海工業地域ができて急速に発展した、私は新しい町だと思っております。

私は海外に言って説明する時に、カリフォルニアのようなところだと言っています。それだけの急速に発展した街で、この開府900年となる古い歴史があるというのは素晴らしいことです。ほとんどの人が千葉市を知りません。千葉に住んでいる年配の方に「どこから来ましたか」と聞きますと、出身は長野県とか新潟県、山梨県とかいう人が多いです。商工会議所の若い人たちに「千葉氏、千葉一族を知っていますか？」と聞くと知らない。まずそこから千葉一族が千葉の大きなシンボルだと皆に教えていただきたいということでみんなに教えていただきたいということと、併せて加曽利貝塚とかオオガハスとかも皆知らないので、千葉の深い歴史を教えたほうがいいかな、と思います。

今日はNHKさんがいらっしゃっていますが、大河ドラマもそうですし、ブラタモリにも市長が出演して千葉を宣伝して頂きたいなと思います。

あともう1点は、市民参加型の取り組みです。たくさんの企業と市民が参加するようなお祭りにしていきたいと思います。高校生とか中学生からも意見をもらって、新しいことを考えていけたらどうかと思います。

以前宇部市に行った時に、宇部市は空襲にあって焼け野原になった後に「彫刻の街づくり」ということで、いろんな所に彫刻が置いてあります。その彫刻を春分の日と秋分の日市民が皆で掃除するというイベントをやっているのですね。そういう形の、今回でスタートするような市民参加、企業参加のイベントを継続的にできればな、と思っております。

いずれにしても、経済界としましては全面的に協力をして、千葉市発展のチャレンジが始まったという形にしたいと思っております。宜しくお願いいたします。

神谷市長

ありがとうございました。今日のご出席いただいた全ての皆様からコメントをいただきまして、それぞれの立場から相当程度の熱量の高い思いやご提案を頂いたと受け止めておりますので、今日頂いたご意見を踏まえて記念事業が市民の皆さんから自然と生まれてくるような仕掛けをしっかりと考えていかないといけないかなと思います。

今日、様々なキーワードをいただいたと思っておりまして、都

市・郷土の誇り、子どもたちへの継承、また機運の醸成、市内でどう展開していくか、拠点をどう構築していくのか等、様々な観点を踏まえて計画を魅力的なものにしていきたいと思いますし、私も参加したいと思ってもらえるようなものにしていく必要があると思います。

今日伺った様々な案ですが、千葉市の地域資源には様々なございまして、多様性がある、これらは豊かさの裏返しですが、その一方では特色が薄れてしまうということもあって「これが千葉市だ」というものを市内外の皆さんも認識するのが難しくなっているのかもしれない。

この豊かな多様性の中にも横軸を通すものは必ずある訳ですし、今転入者も増えています。人口が減っている局面にきているとはいうものの、今年は恐らく増加含みで、市外からお越しになる方も沢山おり、夏祭り等に伺うと、転入された新住民と元からの住民と、いろいろなバックグラウンドの人が来ている街になっていることを感じます。それが豊かさのベースになるわけですが、都市のアイデンティティ、郷土の誇りが薄れてしまう部分でもあると思いますので、この900年というまれに見る重要な節目の時期に、改めて千葉市としての誇り、アイデンティティ、横軸を通せる共通認識をどう培っていくのかしっかり考えられる時期にきていると思います。

皆様から多くのご意見をいただいて、50年後に語り継がれるような、そんな取り組みを具体化していければと思いますので、ぜひそれぞれの立場からお力添え、ご提案をぜひともお願いしたいと思います。本日は皆様から多様な意見を賜り、誠にありがとうございました。それでは今日は時間もまいりましたので、千葉開府900年記念協議会、ここまでとさせていただきたいと思います。本日は多様な意見をいただきありがとうございました。事務局にお返しいたします。

総合政策局長

皆様、大変お疲れさまでございました。以上を持ちまして、第1回千葉開府900年記念協議会を閉会といたします。次回は年が明けて2～3月頃の開催を予定してございます。日時や場所などの詳細につきましては、追ってご連絡を差し上げますのでよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。